

日田警察署協議会

第4回会議の開催状況

第1 開催月日

令和6年2月19日（月）

第2 出席者

協議会 委員 7名

警察署 署長、副署長、総務課長、会計課長、留置管理課長、生活安全課長、
地域課長、刑事課長、警備課長、交通係長 10名

第3 議事の概要

1 警察署協議会代表者連絡会議結果

警察署協議会から

- ・令和5年度警察署協議会代表者連絡会議結果

について報告がなされた。

2 運営重点推進状況

警察署から

- ・第3回警察署協議会以降における運営重点推進状況

について説明がなされた

3 諮問事項の答申

警察署協議会から本年度の諮問事項である「より効果的な災害対策」に対する
答申として

- ・関係機関、団体との信頼関係に基づいた緊密な連携
- ・災害現場の状況に応じた対応
- ・十分な輸送手段と機動力の確保
- ・備蓄の充実と自活能力の向上
- ・市民に寄り添った活動の推進

がなされた。

4 運営重点推進状況に関する意見

- (1) 委員から「先日、他県警の捜査員が、会社に設置している防犯カメラの画像
確認を求めて来社した。警察は民間の防犯ビデオの設置箇所をどの程度把握し

ているのか」旨の質問がなされ、警察署から「事件発生時に現場周辺や現場に至る沿線上を確認することで、防犯カメラの設置状況を把握し、映像の提出などの協力を求めている。また、既に警察で防犯カメラの設置を把握している施設に対しては、平素から捜査協力を依頼するなどして、事件発生時に備えている」旨の回答がなされた。

- (2) 委員から「女性の活躍推進に関し、妊娠中の女性職員のフォローはどのようにしているか」旨の質問がなされ、警察署から「妊娠が判明した段階で、現場中心の業務からデスクワーク中心の業務に変更するなどして、負担を軽減しながら仕事との両立が図れるように工夫している。今後も、女性からの意見を積極的に取り入れ、女性職員が働きやすい環境を構築していきたい」旨の回答がなされた。
- (3) 委員から「高齢の親が、特殊詐欺対策として自宅の固定電話の契約を解除するため、NTTに架電したところ、電話口に流れてきた自動ガイダンスに戸惑い、途中で断念してしまった。高齢者にわかりやすい手続きを推進することはできないか」旨の質問がなされ、警察署から「最近、自動ガイダンスを導入する企業が増えているが、警察に相談があれば、ある程度のサポートはできると思われる。また、固定電話をそのままにして、特殊詐欺被害防止機能付き電話機に交換する対策のほか、70歳以上の高齢者世帯を対象にナンバーディスプレイやナンバーリクエストの工事費・月額利用料が無料になる制度もあり、これらを活用することも有効である」旨の回答がなされた。
- (4) 委員から「児童虐待事案や高齢者虐待事案の実状はどうなっているか」旨の質問がなされ、警察署から「令和5年中に管内で認知した児童虐待や高齢者虐待は、令和4年中に比べいずれも減少しているが、誤差の範囲であり、引き続き、被害者の安全確保を最優先として関係機関と連携し、対応を強化していきたい」旨の回答がなされた。
- (5) 委員から、「管内で発生した外国人の関連事件は、どのようなものがあるのか」旨の質問がなされ、警察署から「令和5年中は、外国人被疑者による強制わいせつ事件を検挙している。現状は、県内の他の警察署に比べ外国人による犯罪が多く発生している状況ではないが、外国人技能実習制度により管内にも相当数の外国人の受け入れがあることから、来日時の講話などの機会を通じ、刑法をはじめとする日本の各種法律を遵守するように指導し、浸透させていきたい」旨の回答がなされた。